



志津南ホームページ
http://waka-kusa.net

発行
志津南地区まちづくり協議会
連絡先
草津市志津南市民センター
077-563-6206

防災組織検討委が答申書提出

新組織、来年度スタートめざす

自主防災組織検討委員会（松崎大次郎委員長、6人）は10月8日、まちづくり協議会理事会に「答申書」を提出しました。

まち協から諮問を受けた検討委員会は昨年11月から今年9月まで11か月間にわたって計22回におよぶ合合を重ね、熱心に議論を交わしました。



答申書を説明する各委員

緊急放送で市と意見交換

台風18号の大雨特別警報が出された際、緊急放送用屋外スピーカーの放送が町内の一部で、非常に聞き取りにくかったという声が多数あったため、まち協役員が草津市危機管理課を訪問、意見交換を行いました。

草津市は、市内に86箇所屋外スピーカー設置、防災情報や緊急情報を放送しているほか、メール配信FM草津、広報車等により多面的に情報発信をしようとしています。

今回の聞き取りにくかったという声に対しては、草津市防災メールの配信を受けてCATVで緊急放送を流す方法がよいのではないかと、CATV検討委員会が検討していただくことにしました。



また、最近の異常気象もからんで竜巻や集中豪雨により多数の犠牲者を出しました。滋賀県でも9月16日に大雨特別警報が出され

12月1日に一斉清掃
志津南地区環境美化委員会は12月1日午前8時半から、一斉清掃を行います。

発事故、京都府福知山市の花火大会爆発事故などが発生するなど、自然災害や事故が身近に感じられています。地震、津波はもとより、最近日本各地で竜巻、東近江市における消火訓練時爆

古雑誌・段ボール・古着
☆朝9時までに自宅前へ
古新聞（チラシと一緒で可）

一回答申書をまとめるとともに、今後の参考にと、「防災・減災の手引き」も作成し、答申書と併せて提出しました。

一、各町内の自主防災会
▽現在のところ、町内会長・副会長・各班長が役員となっているが、会計・各専門委員も役員とし、災害時対応の人員を確保する。

二、地区全体の防災組織
▽自主防災会の連合組織とし、各町内の自主防災会会長の互選により会長・副会長を選出する。

三、防災活動の推進主体は各町内の自主防災会であり、地区全体の連合組織は、その補完・調整を行うことを役割とする。

子ども会が資源回収
子ども会は10月13日、若草6丁目～8丁目、岡本西・グリーンピアの資源回収を行いました。

防災フェスに250人参加

雨で計画変更も吹き出しは実施

自主防災委員会（太田吉一委員長）は10月20日、住民を対象に総合防災訓練を実施、雨天にもかかわらず子どもを含め約250人が参加しました。写真。

そんな中で行われた防災訓練では、従来の訓練事項以外に初めて避難訓練を取り入れ実施する予定でしたが、雨天のため当初計画を縮小、市民センター内の防災スライド、子ども防災教育、防災パネル展示、救命救護訓練に切り替えました。

地域資源回収
11月17日・12月1日
若草一丁目～五丁目
11月24日・12月8日
若草六丁目～八丁目
岡本町西・グリーンピア
回収品
古新聞（チラシと一緒で可）

たこともあって、住民の自主防災への関心が高まり、防災意識の高揚につながってきています。

子ども会が資源回収
子ども会は10月13日、若草6丁目～8丁目、岡本西・グリーンピアの資源回収を行いました。

第9回志津南地区スポーツまつり

300人が地区のまつり演出

町内対抗は岡本西が2連覇

志津南地区体育振興委員会(榎本幸生委員長)は10

月6日、若草中央児童公園を会場にスポーツまつりを開催、約300人がスポーツの秋を満喫しました。



白熱する玉入れ競技

雨が降り、早朝に公園での開催が危ぶまれましたが、前もって公園の整備をして

有志による「デモンストレーション」が加わるなど、各種団体の協力を得た「地区のまつり」らしい大会となりました。また、GSOのみなさんには、入場行進から競技終了までの長時間演奏いただき、大いに雰囲気盛り上げていただきました。

競技種目も、就学前児童から高齢者までが楽しめるものを用意し、おなじみの「就学前児童レース」では新聞紙の壁を突破し、笑顔でゴールする児童の姿が印象的でした。

また、自由参加種目では「飴つかみ競争」、「パン食い競争」、親子で一つのゴールを目指す微笑ましい光景もありました。新たに設けた「遠くへ飛

ぼそうスリッパ飛ばし」にも多くの参加者があり、前方向や青空方向のいろんな方向に飛ばすスリッパに歓声が沸きました。

午前と午後の二部制にした「玉入れ」、一発勝負の「グラウンドゴルフ」、新種目「汗かき環境クイズ」を実施しました。

団体競技では、「台の上」ノリに乗っちゃえ、「大縄跳び」、「大声大会」、「満水リレー」の定番種目に加え、

5年生リーダー研修 子ども会は10月27日、ロクハ公園で5年生のリーダー研修を行い、アウトドア活動を経験しました。写真、台風の影響が心配されましたが、雨もあがり無事活動することができました。

町対抗結果は、岡本町西が昨年に続き優勝、準優勝は若草2丁目、第三位は若草4丁目でした。開催・設営・進行にご協力いただいた各種団体、また競技に参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

まち協だより

第7回理事会 (平成25年10月5日)

- ①毎月の理事会で審議事項の積み残しが生じているため、今月から第1土曜日の他に、第3土曜日にも理事会を開催することとした。
②総会のあり方について
・総会は代議員で構成し、理事会構成員は議決権を有しないこととする。
・代議員は、理事就任者を除く各団体代表者および「住民の代表」とし、「住民の代表」は各町内会の各班から1名を選出することとする。その選出方法は各町内会に任せる。
・また、総会において、代議員の中から議事録署名人2名を選出することとした。

第8回理事会 (平成25年10月19日)

- ①まちづくり行動計画特別委員会「答申書」の内容について審議し、次の4点に絞り込んで、今後議論を深めていくこととした。
1. 役員単年度輪番交代制の弊害の解消
2. 「協働のまちづくり指標」を具体化する中期計画としての「まちづくり行動計画」の策定
3. 超高齢社会に向けた支えあいの仕組みの構築
4. 地域活動中の事故に対する「損害補償」の充実
②自主防災組織検討委員会「答申書」に関して、各町内会役員会での議論を踏まえて理事会で検討、来年度から新組織発足を目指す。

子ども達は、先ずスーパー「スター」で各班に分かれ食材を購入。班長さんは電卓を使いながら予算内に収まるよう皆に伝えました。スターからロクハ公園までは、各自が自転車で一列となつて移動しました。ロクハ公園では、指導者



PTA講演会 志津南小学校PTA(奥田和奈会長)は10月30日、草津市教育委員会事務局生涯学習課の布施久幸専門員を講師に招き「子どもの現状と課題」をテーマに教育講演会を開催しました。

その中で、大人が子どもの現状を知り、正しい知識と危険性を学び、子どもに教えていかなければならないと強調、受講者は改めて学校・家庭・地域で子どもたちを守るために必要なことを保護者は考えなければならぬと感じました。(小学校PTA)

布施講師は昨年度まで高穂中学校で生活指導を担当した経験を通して、子どもを取り巻く家庭・地域・社会環境の変化に大人がすべきことは何かを話しました。

これに先立ち10月19日、5年生、6年生を対象にテイクアップの活動の目的、班編成、役割、飯盒炊さんなどを事前に話し合い、確認した成果が表れたものといえます。(子ども会)



センターのシニア講座活発に

志津南市民センターは10月、シニア世代向けに「愛彩菜収穫体験&潮彩菜定植見学」やハーモニカ演奏を聴いたり、また、やすらぎ学級は神戸へ出かけました。

ハーモニカ演奏会

10月26日のシニアのついでには、日本ハーモニカ協会の源馬英人・恵子さん夫妻のハーモニカデュオ「メオット」によるハーモニカ演奏会が開催されました。写真。

参加者27名は「証城寺の

狸ばやし」など、息の合ったデュエット演奏から、「故郷を離れる歌」「パリの空の下」など個性の際立つソロ演奏、「赤とんぼ」等の合唱演奏など、秋の曲を中心の演奏に魅了されました。ハーモニカの種類によって伴奏専用、和音、へ長調、口笛風、ブルース調など音



色もさまざま。ハーモニカの成り立ち、奏法などの「よ

愛彩菜を収穫体験

10月2日、シニアのついでには草津市下笠のおおばな館周辺で開催され12名が参加しました。写真。

草津の特産物をもっと身近に感じてもらいながら地産地消で健康づくりを目指したいと、生産者の方から

もやま話」もあり、参加者からは「ハーモニカの世界、演奏の奥深さに驚いた」「もう一度吹いてみようと思っ

た」「ご夫婦の絆の感じられる演奏で素晴らしいかった」などの感想が寄せられ、馴染み深い楽器であるハーモニカ

二力の新たな魅力を再発見する演奏会となりました。

訪れました。

同パークは中世ヨーロッパのルネッサンス様式的美丽

しい建物。写真。庭園が見どころで、あいにくの雨で果物狩りや庭園散策は難しかったものの、回廊に沿って花を見ながら園芸店などを巡りました。

モンキーショーでは出演

のお猿ハク君が3メートルもある竹馬をのりこなしたり、ジェスチャーでトレーナーと漫才のようなやりとりをする芸達者。学級生は「かわいい」「賢い」と笑顔になり、ついついおひねりを奮発していました。物産店ではワインやプリンなど神戸名物に「これは家族に」と買い物を楽しみました。



はなボランティア

花ボランティアグループは平成18年志津南地区社会福祉協議会のボランティア活動として立ち上がりまし

た。中央公園の一角を「やすらぎ空間花ボランティア事業」名づけ、公園に来られる皆様、やすらぎや和みを感じて下さる公園にしよう、いろいろな方が関わって下さり、現在11名で活動を続けています。

定例活動日は、毎月第一火曜日午前8時30分からです。7・8月は休みです。場所はレンカポット3個を含む中央公園横の花壇です。活動内容は、花壇の花の植替え、除草、花の手入れ、土壌づくりなどです。水やりは週ごとに当番を決めています。

は地域の皆さんから提供されたもの、社会福祉協議会の補助金で購入したものです。5月と10月には市から提供される花の苗を植えますが、メンバーの皆さんと土壌づくりを工夫し、当初痩せていた土が、今ではふかふかのミミズのいる土になっています。

春・夏・秋・冬を通して花壇にはさまざまな花が咲きます。可憐な山野草もたくさん植わっています。花ボランティアの皆さんは、自分の出来ることを無理せず、自分のペースで活動しています。定例の草引きは黙々と作業を行っています。

花ボランティアでは、一緒に活動して下さるメンバーを募っています。中央公園「やすらぎ空間」の花壇を四季折々の花で彩り、たくさんの方が憩える場所にしませんか！

【問い合わせ】代表 三根恵子 (5664) 5908 <http://waka-kusa.net/hana/index.html>



花壇に植えられている花

花ボランティアでは、一緒に活動して下さるメンバーを募っています。中央公園「やすらぎ空間」の花壇を四季折々の花で彩り、たくさんの方が憩える場所にしませんか！

フラワーパーク訪問

やすらぎ学級は10月23日、受講生21名が「神戸市立フルーツフラワーパーク」を

高島で「古今東西」



高島で「古今東西」

志津南市民センターの教養文化講座「古今東西」が10月30日、高島市の「渋柿手書き染 山本工房」と楽農舎「なごみの里観光農園」

で開催され36名が参加しました。山本工房では、伝統工芸作家山本玄匠さんが自然の産物を発酵させた様々な自然食品と「柿渋」を混ぜ合わせた染料を帆布に流し素手で作品を描くのを見学しました。また楽農舎では、体に安全な作物を作ることの大切さを改めて考えてみてくださいなね、とお話の後、3種類の芋ほりと平飼いされた鶏舎に入り卵拾いの体験をし「安曇の恵み」をみんなで堪能しました。



すこやかセミナー開催

志津南地区青少年育成委員主催の「すこやかセミナー」が10月10日、志津南市民センターで開催され、約40人が出席しました。写真。



セミナーは「青少年の現状と課題」と題して、草津市教育委員会事務局生涯学習課の布施久幸さんが、草津市内外の青少年を取り巻く状況や問題とそれへの対応について講演しました。

その中で、布施さんは「青少年問題の多くは最近急

激に普及した携帯・スマートフォンを入口とするネット社会と無縁でなく、その仕組みや恐ろしきについて青少年本人達だけでなく彼らを指導すべき大人たちも十分に理解できていないことが問題だ」とネット社会をよく知ることの重要性を指摘しました。

講演後の質疑応答では地域の皆さんから、保護者向けにネット社会問題への理解を深めるための講習会等を開催すべきだとの意見等が出されました。

青少年育成委員会ではこのような意見を今後の活動に生かし、青少年の健全育成に寄与していきたいと考えています。

またセミナーに先立ち、この夏に募集した「挨拶(あいさつ)運動啓発作品」優秀作品の表彰が行われ、

最優秀賞の志津南小学校一年生・小川航輝くんを始め先月号の志津南ニュースで発表された方々が表彰されました。

若草、青山ボランティアが調整池の草刈り

若草緑化ボランティアグループ(降矢義夫代表)は10月1日、青山地区調整池美化ボランティアの会と合同で伯母川調整池フェンス内外の草刈・低木剪定を実施しました。

草津市と大津市にまたがる伯母川調整池はこの池を管理する県南部環境総合事務所が年1回草刈を実施していますが、雑草の繁茂とゴミの投げ込みにより、適切な環境が保たれていない状況下にあります。

青山地区ではこの状況を改善するため、平成20年4月からボランティア活動が実施されています。一時は

若草地区からも数名の方が参加されていたようですが、現在は青山地区単独の活動となっていました。

今回、青山グループからの呼びかけもあり、若草ボランティアグループとして初めて参加しました。総勢21名による協働作業でしたが、終了後、全員ですっきりとした広大な調整池を眺め、満足感も得ることができました。

同池は若草・青山地区住民の生活を守る大切な池です。同池の環境保全と若草・青山の景観維持のためにも、河川愛護活動(県・市と地域の連携による河川の維持管理活動)に参加し、今後も継続した活動にしたいと考えています。

28日から作品展

志津南市民センターは、シアターのつどいとして「み

んなの作品展」を次の通り開催します。皆さんの趣味をいかしたものや自信の作品を出品して下さい。

▽開催 11月28日(木)

▽会場 同市民センター サロン

▽作品搬入 11月19日(火) 11月27日(水)

▽作品搬出 12月4日(水)

▽内容 手作り作品や写真 絵画など

来月13日にふれあい文化祭

志津南ふれあい文化祭実行委員会主催の「志津南ふれあい文化祭2013」が12月13日(金)、14日(土)の2日間、志津南市民センターで開催されます。

同文化祭は、志津南市民センターで活動しているサークルや団体が集い、日ごらの活動成果を発表するものです。

▼12月13日(金) 13時～14日(土) 15時

センターサロンおよび会議室で手芸、書道、志津南小学校クラブ活動などの作品を展示。

▼14日(土) 10時～16時
午前：若草セラバンドクラブ(体験型発表)、レインポードリーム(キッズダンス) 午後：湖南ギターアンサンブル、草扇会、懐メロを楽しむ会(参加型合唱)、お楽しみ抽選会、かがやき(参加型力フオケ)

詳細は広報くさつ12月1日号とともに配布の「案内チラシ」をご覧ください。

折々の記



胃の痛みは業種、仕事の内容によって、または人によっても左右されるようです。しかし、誰しもある程度の痛みは経験されたことでしょうか。

胃は心の鏡だといわれ、それほど感情の影響を受けやすい器官なのです。

日本人には胃腸病が多いようで、特に40歳以上の4人に1人は胃腸病、十二指腸潰瘍になると言われてい

ます。ストレスは胃腸の天敵と言われますが、どうしてストレスによって胃腸病が起きるのでしょうか。

皆さんは解っておられることですが、私が日常生活から気をつけていることを付け加えておきます。

胃の痛み

この神経は、手足を動かす随意神経と違って自分の意思では自由なりません。

一、規則正しい生活と十分な睡眠を心がけることが第一。

日本人の胃腸はデリケートで大半は日ごろから何かと

二、アルコールはほどほどに。

いえる胃の不快感や不調を訴えたり、胃腸薬のお世話

三、ウォーキングなど適度な運動をする。

訴えたり、胃腸薬のお世話になっているようです。

四、食べ物は極力刺激物を避け、年齢に応じた食事をする。

五、なるべく仕事などはその日に処理する。

こよみ

- 11月16日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 11月22日(金)
 - ☆ふれあいバスツアー 10:00～16:00 ボランティア「泉」
- 11月23日(土)
 - ☆社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 11月26日(火)
 - ★懐メロを歌う会 10:00～11:30
- 11月27日(水)
 - ☆やすらぎ学級 13:30～17:00
- 11月30日(土)
 - ★歌とお茶の会 13:30～16:00
- 12月7日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 12月10日(火)
 - ★懐メロを歌う会 10:00～11:30
- 12月13日(金)～14日(土)
 - ★ふれあい文化祭 13:00～翌15:00
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00～12:00 第五集会所
 - ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です